

Java プログラミング第 6 回演習課題

課題 1

授業の日程を管理する `LectureSchedule` クラスと、これを拡張したレポート締め切りの日程を管理する `ReportSchedule` クラスを作成せよ。各クラスの仕様を以下に示す。

LectureSchedule クラス

フィールド名	型	説明
month	int	月
day	int	日
sch	String	スケジュール内容

メソッド名	引数	戻り値	説明
printInfo	なし	なし	日にちとスケジュール内容の表示
makeLecture	BufferedReader br	LectureSchedule	標準入力から LectureSchedule のインスタンスを作成

ReportSchedule クラス

month	int	月
day	int	日
sch	String	スケジュール内容
rep	String	レポート内容

メソッド名	引数	戻り値	説明
printInfo	なし	なし	日にちとスケジュール、レポート内容の表示
makeReport	BufferedReader br	ReportSchedule	標準入力から ReportSchedule のインスタンスを作成

これらのクラス定義が正しいことを確認するために、以下に示す `ScheduleManager` を実行し、その結果が下に示すようになることを確かめること。

```
import java.io.BufferedReader;
import java.io.IOException;
import java.io.InputStreamReader;

public class ScheduleManager {
    public static void main(String[] args) {
        BufferedReader reader = new BufferedReader (new
        InputStreamReader (System.in));
```

(A)

```
LectureSchedule lec1 = new LectureSchedule();
lec1.makeLecture(reader);
ReportSchedule rep1 = new ReportSchedule();
rep1.makeReport(reader);
```

```
}  
}
```

実行結果

```
何月？> 11  
何日？> 11  
授業？> Java  
11 月 11 日の予定 : Java  
レポート予定入力  
何月？> 12  
何日？> 9  
授業？> Java  
レポート内容？> レポート 1  
12 月 9 日の予定 : Java レポート内容 : レポート 1
```

課題 2

makeLecture と makeReport を static メソッドとして実装せよ. そのために, main メソッド中の (A) の部分を適切に変更せよ.

発展課題

任意の予定 3 つ入れると, その中で最も早い日程の予定を表示するプログラムを作成せよ. (ヒント)あるクラスを拡張したクラスのインスタンスは, 親クラスのインスタンスとして扱うこともできる.

実行例

```
1: 授業予定入力 2: レポート予定入力 3: 入力終了  
2  
レポート予定入力  
何月？> 12  
何日？> 9  
授業？> Java  
レポート内容？> レポート 1  
12 月 9 日の予定 : Java レポート内容 : レポート 1  
1: 授業予定入力 2: レポート予定入力 3: 入力終了  
1  
授業予定入力  
何月？> 11  
何日？> 11  
授業？> C++  
11 月 11 日の予定 : C++  
1: 授業予定入力 2: レポート予定入力 3: 入力終了  
1  
授業予定入力  
何月？> 11  
何日？> 15  
授業？> Java  
11 月 15 日の予定 : Java  
最も早い予定  
11 月 11 日の予定 : C++
```

＜課題の提出方法と締切＞

作成した java ファイルを CoursePower に提出すること. 発展課題に取り組んだ人は発展課題の提出ページにアップロードすること.

提出期限: CoursePower に記載